

会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第3回）
開催日時	令和8年1月14日（水）午後2時30分から午後4時
開催場所	田無第二庁舎4階 会議室3
出席者	（委員）野崎会長・下田委員・原島委員・酒井委員・木村委員・竹之内委員・永野委員・志賀委員・山本委員・湯澤委員 （欠席）新出委員・酒見委員・村松委員・田中委員・桐山委員・戸栗委員 （事務局）海老澤学務課長・山崎保健給食係長・横張・氏家・林
議題等	<議題> 1 開会 2 給食費改定の答申について 3 その他
会議資料の名称	資料1 令和8年度学校給食費単価シミュレーション 資料2 令和8年度学校給食費無償化について 別紙1 パターン1 給食費計算資料 別紙2 パターン2 給食費計算資料 別紙3 パターン3 給食費計算資料 参考資料1 西東京市立の小学校及び中学校の学校給食における給食費の見直しについて（諮問） 参考資料2 他市給食費単価（令和7年10月調査結果（参考））
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>開会</p> <p>○会長 開会する。 ※ 委員定数16名、出席委員10名で過半数に達しているため、本審議会の成立を確認 ※ 傍聴の申し出 0名</p> <p>議題2 給食費改定の答申について</p> <p>○事務局 資料1（別紙1・2・3）、資料2（参考資料2）による説明 給食費算定の補足として、全パターン、過去の給食費を考慮し、消費者物価指数を基に算出している。毎年度の給食費を見直す方法について議論いただきたい。</p> <p>○委員 質問①：他市の給食費と比べて、西東京市の給食費が高く出ているのはなぜか。 質問②：給食費が無償化になり、市の支出として給食費の支出が全体の総額と比較するとどのくらいの割合なのか。</p> <p>○事務局 回答①：国産のものにこだわった給食費を設定するといったところで、他市に比べて高い給食費になったと考える。また、物価の上昇を見込んで設定したので他市と考え方がずれて高くなったのではないかと考える。 回答②：現状ベースでは小学校だけだと、市の持ち出しとして補助金等を引いて約1.1億円になる。国の補助金の月額5,200円の制度が始まると、市の負担としては約1億円弱となる見込みであり、市の負担は若干軽減されるのではないかと考えてい</p>	

る。

○委員（栄養士）

10月の給食費の上乗せのおかげで、献立作成に余裕ができた。1月の給食費の計算をしたところ適当な額だったため、来年度も今の給食費があれば同じように献立作成ができる。物価がどのくらい上がるか未知数のため、同等の額であれば問題はないと考える。

○委員

パターン1からパターン3になるにつれて、どんどん計算方法が細分化されている。パターン3だと、各食材でなにか影響があった時に、その高騰分を給食費に反映しやすいのではないか。

○事務局

各食材の高騰、不測の事態に対して当てはまった現行単価を出しやすい。

○会長

給食費の算出方法について、パターン1からパターン3のどれかを決めたい。

○委員

中学生の価格が他と比べて大幅に乖離しているのはなぜか。

○事務局

元々中学校は給食ではなかったため、中学校給食を始めるときに、小学校と同じ献立に1.3倍をかけたら中学生に必要なエネルギー量になった。そのため、給食費の単価も1.3倍にしているため、東京都の補助金と大幅に乖離したものと考えられる。

○委員

実際の中学校献立作成で全食材を1.3倍にすることは難しい。食材に関しては、他の食材で栄養素を補うように工夫している。そのあたりで、必ずしも必要額が小学校中学年の1.3倍とならない日もあることなどが影響しているのではないか。

○委員

西東京市が給食費を高く設定していることをPRしていかないのか。

○事務局

国産にこだわっている給食ということは現状でもHPなどでPRしていく。

○会長

来年度の給食費を設定するためのパターンとして、どれが良いか隣同士話して意見をだしてほしい。

委員同士で議論

○委員

どのパターンにするかは多数決で決まるのか。

○事務局

意見が分かれば多数決にということもあるかもしれないが、まずは各パターンのメリットやデメリット等の懸念事項を教えてほしい。

○委員

パターン1は外食も含めた食料全体の上昇率を反映していて、パターン2は外食等が含まれていない給食に使用される主な8品目の上昇率を反映していて、パターン3はさらに分類等を細かくして、西東京市の給食の実態に近付けた給食費の計算方法ということで間違いはないか。

○事務局

間違いはない。

○委員

パターン3が実態に基づいていると思うが、パターン3のデメリットはなにか。

○事務局

特にデメリットはないと考えているが、他の給食費と比べて低い金額が出ている。物価高騰があるのに1円でも値下げをしてしまうと、保護者心理にマイナスのイメージを与えてしまうかもしれない。

○委員

3パターンについてどうやって出したのか。ベースをパターン1で考えて、そのあとにパターン2、パターン3と考え方を広げていったのか。

○事務局

パターン1からパターン2、パターン3と考えを深めていった。どこまで考えを深めていけばよいか意見がほしい。

○委員

パターン3は厳密な数字が出せるので良いと思うが、きっちりやりすぎるので余裕がなさそうに感じる。また、パターン3になった場合は今よりも1円低くなる想定だが、減った分の予算はどこへ行くのか。

○事務局

予算は毎年、10数億円の財政調整基金を取り崩しながら組まれている。マイナスになった1円分は、市の財産である財政調整基金をその分使わないことで、子どもたちに将来の備えを増やすことができる。

委員同士で議論

○会長

それぞれ話した内容の結果を発表してほしい。

○委員

パターン3が良いと考える。穀類や魚介類、肉類等のなにかの食材が目立って高騰した時も給食費に反映しやすいと考える。

○委員

西東京市は、国産にこだわり安全でおいしい給食を提供するのが強みである。どのパターンでもその強みが崩れないのであれば、他市の給食費と足並みをそろえるためにも細分化できるパターン3が良いと考える。

○委員

今後を予測すると、パターン3は各食材のリスクヘッジができるのでパターン3が良いと考える。

○事務局

給食費単価について、考え方としてはパターン3を採用するとしても、金額は現行単価のままということも1つの選択肢である。

○委員

給食費について、来年度の途中でも給食費の見直しが想定されるのか。果物等の単価が高いものが高騰した時は量を減らす等、こういった対応をするのか。

○事務局

基本的に上昇を見込んで設定する給食費なので、年度途中の見直しがないように予算を組んでいる。物価高騰があまりにも想定を上回った時は、補助金等で対応をしていくことも考えられる。

○会長

給食費設定の考え方について、パターン3に決定ということによいか。

○委員

異議なし。

○事務局

考え方はパターン3とするとして、答申では金額で示していただきたいと考えている。来年度の給食費については、現行単価のままいくか、パターン3の金額に変更するかどちらが良いとお考えか。

現状をおさらいすると、令和7年度は小学校中学年の給食費を316円からスタートし、物価高騰の影響により10月から33円を一時的な対応で上乗せして349円にしている。答申により、令和8年度は、上乗せなしで給食費を349円にすることも可能になる。今後の物価の動きについては、毎年度の議論で給食費の増減を検討し、対応していきたい。

○委員

現行単価が可能ならば、現行単価のままが良い。都の補助は出るのか。出るとしたらどうなるのか。

○事務局

都の補助については、確定していないが、現行は市の給食費が都の補助単価を上回っても対象となっている。もし補助が出るようであればその分さらに市の負担が減ることになる。

確認ですが、改めてそれぞれの給食費を上げると、低学年：328円、中学年：349円、高学年：368円、中学生：435円になる。

○会長

給食費は現行単価のままでよいか。

○委員

異議なし。

教育長入室

○会長

教育長へ答申

○教育長

これまでのご協議・ご検討に感謝する。その成果を頂戴し、重要な意見として受け止める。

議題3 その他

なし

閉会

○事務局

・令和7年度の会議は、本会議にて終了する。次回は令和8年度に入り、6～7月ごろに開催予定としたい。

○会長

本日の会議を散会する。